

【神投資家のウォーレン・バフェットが裏情報(インサイダー)ではなく公開情報を徹底的に読み込む理由とは？】

どうもゆうです！

読者さん、こんばんは！

さて、前号にて

【日本人の50パーセントが月に一冊も本読まなくなってる!?!】
(一方、「大富豪は読書ばかりしている」)

という号を流しました。

特に1日30分以上読書する人の割合は

ビル・ゲイツ氏やウォーレン・バフェット氏のような

大富豪を含む富裕層

と

年収3万ドル(約300万円前後)以下の層

を比べてみた場合

上記富裕層は88%

年収3万ドルの層は2%というのは

かなり重要な数値ではないかなと思った次第です。

それで読書家でも知られるウォーレン・バフェットですが

彼なんかは裏情報(インサイダー)には目もくれず、

公開情報、いわゆる大衆に知らされている情報だけで判断は

十分だ、ということなんですね。

世界一の投資家で資産数兆円の彼のこの考え方はとても

印象的です。

それでは学んでいきましょう！

↓↓

下ページへ

【神投資家のウォーレン・バフェットが裏情報(インサイダー)ではなく公開情報を徹底的に読み込む理由とは？】

さてさて、それで前号で

【日本人の50パーセントが月に一冊も本読まなくなってる!?!】
(一方、「大富豪は読書ばかりしている」)

っていう号を流しました。

それで大富豪のバフェットやらビルゲイツなんかはもう読書ばかりしている

って話も書きましたが

特に大富豪のバフェットはどうやって長文読解してそれを

投資に活かしてるのか??

ってのを今号で補足的に書きたいと思いました。

ちなみにバフェットのインタビューとか彼についての分析本

というのは沢山出ているんですけど

(一方バフェット自身が書いた自伝はありません。が彼に対しての

分析はすごい沢山出ている)

どんなバフェットの本でもいわれるのはまあバフェットというのは
とても勤勉であって、読書ばかりしてるってことですよね。

それで言われるのが資産数兆円を築いた
バフェットの投資は何から始まるのか？
というと

「読むこと」から始まると言われます。

といっても特別な何かバークシャーハサウェイという大企業の
トップの彼だから得られる情報を読んでるのか？
というと違ってバフェットというのは

「公開情報」を読んでるんですね。

だから特別なバフェットしか仕入れられないデータとかではなくて
まさに誰でも手に入れられる年次報告書(マニュアルレポート)
とかを彼なんかは常にいつも読んでるらしいです。

バフェットの考え方としては
「投資の根拠は年次報告書だけでOK」
というものです。

これはなかなか衝撃的です。

だって私たちは暗号通貨にしても株にしても何か良い情報ないかな？

ってやるわけですが

バフェットの言えれば彼が読むのは仮想通貨で例えれば

ホワイトペーパーだけです。

が、それを誰よりも読み込むというのが彼のあり方なわけです。

逆に、株でも仮想通貨でも年次報告書もホワイトペーパーも読んだことないけど

投資やっちゃってるって言う人多いかもしれませんが

それはバフェットの姿勢とは間逆であるということです。

それでバフェットはもう毎年何千という数の年次報告書や決算書を

読むのですが

その過程で「これはすごい！」みたいな企業に出会えば

そこですぐに行動を起こすのですね。

特に、関心がある企業の年次報告書なんかは

バフェットは定期的に目を通して追っていくらしいです。

例えばバフェットは1951年にガイコという会社がありまして

ここに自己資金のなんと75%を集中投資しているのですが

一度ガイコのトラブルもあって、そこで株は決済しているんですね。

が、そこで20年間ガイコを上記の公開されてる年次報告書で
追いつけて、

それで1975年に株価が急落してそこで20年間以上待つて
その後投資しているわけです。

その後ガイコの救済があつて株価高騰となっているんですね。

よく底値あたりで株を買う投資家っています

あれらは偶然じゃなくて公開されてる年次報告書とかそういうものを
とにかく読み込んで

ずーっとその企業の株価が下がるのを「待つて」

必然的に「そのとき」が来たら買いあがってるわけです。

だから実はあれらは偶然じゃなくて、必然的に底値で買えてる
わけでした。バフェットなんかもガイコを底値で買えたわけです。

その背後には年次報告書を20年以上読み続けるというバフェットの
地道さがあつた、っていうことですね。

それでアメリカの鉄道会社 BNSF なんかにバフェットは投資を
仕掛けていたのだけど

バフェットはこの BNSF のマニュアルレポートをもう30年40年と
読んでいたけど

けどその時は買っていなかったと。

ただ読み続けてはいたのだけど30年40年経過して
ようやくそこでチャンスが訪れて買ったということです。

また IBM 株をバフェットが保有してるのは有名ですが
これも IBM なんかが競争力が将来もあるでしょうという判断の元、

まさにインサイダー情報とかそういうのではなくて
公開されてる年次報告書からそう判断して、それで

IBM がこれからも競争できると確信して
それで投資しているわけですね。

これは株だけにあらず仮想通貨にも応用可能な考え方だ
と思いますよね。

「ホワイトペーパーやその仮想通貨の公開情報だけを
とにかく読み込み買う時に買う」

これなんかは仮想通貨の性質としてFXというよりは
株に近いと分析できますので

バフェットのあり方は応用可能だと私はバフェットのことを
学んでいて感じました。

それで優れた投資家の語彙(ごい)として出てくる言葉ってのが
あってそれが

「原理原則」って言葉ですよ。

この「原理原則」って言葉は根崎さんも、野田式FXの野田さんも
あとはダイスケさんも使いますよね??

要するに優れた投資家ほど、原理原則を重視する。

じゃあバフェットはどうか?というところ

この人も 原理原則 という言葉を使うわけですよ。

それでバフェットが言うのは並外れた才能とかIQとか
そんなのなくても原理原則さえ守ってれば並外れた
業績は発揮できるっていうことですね。

ちなみに投資家の神様といわれるウォーレン・バフェットですが
それこそ資産10兆円近くといわれますが

実はこのウォーレン・バフェットって遅咲きなんですね。

この前 世界の仮想通貨長者番付を流しましたが

そこでは資産1000億円超ってのが沢山いましたが

大体30代～40代でその資産量からしたら相当若いです。

が、バフェットの場合、資産10億ドル、だから日本円で

1000億円ちょっとを超えたのはこれ、

60歳の時なんです。

ITですぐに富裕層になった最近のフェイスブックの

ザッカーバーグだったり、アマゾンのベゾスみたいな

華やかさはなかったんです。

地味ですよ。

けどバフェットがずっと生涯にわたりやり続けたのが

まさに「原理原則を忠実に守ること。」

この一点でありました。

しかしながらそのバフェットの業績は桁外れでありまして

60歳で初めて1000億円超を超えて、その後また

資産が膨れて今なんかは10兆円近くになっていると。

それでじゃあバフェットとかは特別な情報源があったか？

というと違います。

彼の場合とはとにかく前記の年次報告書を読み込みまくって

それで

100円の価値がある企業を30円とか40円で買ってきただけ

なんですね。

これを何度も何度も繰り返した。

それでバフェットは驚くほどの実績をあげてきたわけです。

だからバフェットがよく言うんだけど投資で稼ぐために

学歴とか職歴とかIQの高さとかそういうものじゃないんだと。

もし学歴がカネ稼ぎの本当の指標であるならば

東大生もしくはアメリカのハーバード大学の人らはみな

金持ちであるはずですが、

違います。

学歴エリートたちの収入とか資産はバフェットの数10万分の1以下

だったりするわけです。

IQが高いMENSAの人々みなが幸せな金持ちか？というと

それも違う。

だから本当にお金を稼いで幸せな金持ちになるためには

別の基準があるのだ、ということを知る必要があつて

私たちは肩書き洗脳から逃れる必要があつて

バフェットは「原理原則に忠実であるべきだ」を守り続けたんです！

だからこれがバフェットが世界で尊敬される所以(ゆえん)

でもある。

ちなみに私ゆうなんかは学校は一応そういう歴があるとされるどころ

だったけど新卒では就職しなかったんですね。

それは社会が学歴社会とかそういう基準で動いてるのが

とても気持ち悪いと思っていたから。

だからまあ「新卒で就職しないで派遣とバイトで働いて

人生勝負していくぞ～～」と私はまあ学歴をその時点で

こう捨てたんだけど

(ちなみに学歴ってのは、社会人はご存知のように

新卒就職しないとほぼ意味を成さなくなります。)

ただやっぱり人生には他の豊かになる基準があると思っていたわけです。

だから私はこのバフェットの考え方にすごい共感を得るところが

あって、

やはりその人の頭の良さとか IQ とか 職歴だとかそんなものではなくて

もっと重要なことがあるということで

それは投資の世界では「原理原則を忠実に守り続けること」

です。

ちなみに、それを FX の世界で教えてるのが上記の

根崎君だったり野田さんダイスケさんだったりするんですよね。

それでバフェットの話に戻りますが、

前号で

【日本人の 50 パーセントが月に一冊も本読まなくなってる!?!】

(一方、「大富豪は読書ばかりしている」)

と書いたけど

まさにその読書ばかりしている大富豪はバフェットです。

バフェットというのは世界一の投資家として知られているけども
同時に強烈な猛烈な読書家としても知られているのですね。

ちなみにバフェットの逸話って結構バフェット本にあって
10歳の時にはすでにバフェットの故郷の田舎のオマハ図書館にある
「金融 finance financial」って名前がつく本は「全部」読み込んだそうです。

しかもその「全部」を2回づつ読んだそうです。

といっても図書館にある金融の本というと多くて数十冊か数百冊かと思
うけどそれをもうバフェットはそれぞれ2回読み込んだんですね。

図書館の金融本は制覇した。

ただバフェットは金融の本だけ読んでるわけではなくて
例えばバフェットなんかは競馬場で無許可で、
それで予想紙を発行していたんですね。

日本だったら下手したら逮捕されたりするかもだけど
まあバフェットはそういうことも若い頃していた。

それで彼の父は下院議員していたんだけど
そこで彼から勝ち馬をどう予想するか、という本を
何百冊も借りてもらって、読んでます。

そして古い予想紙を何度も読んで、
繰り返し呼んで、それでシナリオ構想力を
養っているわけです。

ちなみに私なんかも副島本を結構扱ってますが
あれはシナリオ構成力を養うのにすごい良いんですね。
だから扱ってるんだけど気づきましたかね。

それでバフェットなんかは読書を「習慣化」して行って
それで大学や大学院でも株式だったり投資に関する本をですね、
どんどん読破していきました。

まるでそれは少年が えろ本 を熱心に読むように
今でいえばえろ サイトを沢山見るように
バフェットは次々と読破していったんです。

実際にバフェットはそういうことを発言してます。

「少年がプレイボーイを熱心に読むように
私は上場企業の財務諸表を熱心に読んでます」と。

それでバフェットなんかは毎年オマハのバークシャーハサウェイとかの
株主総会であらゆるバフェットファンの質問に答えているけど

彼なんかによく寄せられる質問が

「投資家としてあなたみたいに大成功するためには

何をすべきですか？」

というのですが

バフェットはここで間髪いれず

「手当たり次第読むことです」

と答えます。

だからバフェットからしたらネットだったりで

情報が大量に流れていようと、

NY ウォール街でインサイダー情報が流れていようと

関係なしでして、

(だから彼は「雑音」がいやだから田舎のオマハにいます)

というのはなんでか？というと

彼は毎日何時間も読んだり考えたりするだけで

成功できると知ってるから

そんな裏情報を意に返さないのですね。

彼が考えるのはただひとつで公開情報を徹底的に読み込む
ってことです。

だから最近だと暗号通貨の ICO なんかが流行中だけど
これもバフェットは手をつけないけど

この分野のプロフェッショナルとして稼ぐと決めてる人は
やはりホワイトペーパーなりの公開情報は
何度も読み込む必要があるってことですね。

バフェットの若い頃と違って私たちが有利なのは
スマホでそれらの公開情報が一元化されて
スマホ一台で図書館に行かなくても読み込めるということだと
思います。＝時間が短縮できるってことです。

だからスマホ一台の使い方でも
こういった公開情報を沢山読み込むっていうところに
つぎ込むと・・・全然これからの収入は変わっていくということだ。

それで最後に書くと

「そうか、じゃあ私はバフェットのように、本だけ

沢山読んでればいいんだな」

ってことになってしまいそうですが

これも違うんですね。

というのはバフェットがさらに同時に主張してる事があって

それが

「(本だけ読んでるだけでもだめで)

~~~~~  
自分からはじめない限りは成功なんてありえない」

~~~~~  
ってことです。

これはバフェットが幼い日に読んで感銘をうけた書籍で

「1万ドル儲ける1万の方法」ってのがあって

ここに書かれていたらしい。

バフェットは子供の頃から億万長者になる夢があったんだけど

この一文を超重視したんです。

~~~~~  
だから簡単に言うと

「本を読むだけでは不十分で

少額でいいから実践(投資)をして

失敗でもしろ」

ってことです。

ちなみにバフェットは経験から得られる情報は

本からの情報以上に大きいと考えていて

だから実践や経験を大事にします。

実際にこれはバフェットの有名な逸話ですが

彼は11歳で株式投資を開始してますが

そこで貯めた資金で、株を3株買いました。  
(買値は38ドル)

そこで6ドルの利益を得てます。

まあ38ドルの投資金で6ドルの利益だから

はっきりいって微益ですよ。

これはいわゆるプロスペクト理論の

「人間は痛いことを先延ばしにして

気持ち良いことを早くしちゃうから

気持ち良い利益確定を早くしちゃう」

ってやつなんだけど

バフェットもこれを経験してる。

そこでバフェットは「買った時の株価を気にしてはいけない」

ってことを学んで

あとは株価の上下に一喜一憂してはならない

ってことも学んだ。

実際にバフェットが持っていた株は

38ドル購入して評価額が一度27ドルまで下がって

バフェットはあわてたんだけど

そこで戻ってきて40ドル以上に

回復して売ってしまったんだけど

この株はその後202ドルまで急騰してます。

その時持っていればバフェットは6ドルじゃなくて

11歳の子供なのに492ドル得られていたわけです。

だからバフェットは失敗に学んで早い利益確定は悪だ、

というのを学んでるんですね。

ちなみに日本のネットを時々見るとこれは

面白くてバフェットは当時11歳とかそんなものだけど

ここで「株価の上下に一喜一憂するな」を理解してたけど

仮想通貨で一喜一憂してる大人多すぎじゃないですかね。

私は一応記事にはするけど、まあ正直言うと結構その辺は  
冷静に見ているのだけど

ここで「上がった！！下がった！」って

興奮してる大人が多いわけですが

それはやはりカッコいいものじゃないし、

もっと言えばその人たちは30代とか40代だったりするんだけど

投資の精神年齢で言えば11歳のバフェット以下なんだと思いますよね。

ここに私たちは気づくのが大事です。

私たちはこれからさらに金持ちになっていくために、

彼らのように一喜一憂するのはこれから考えていったほうがいいと

思います。

ちなみに女性にモテる男ってのはそういうのに一喜一憂しない

器の男でしょう。

これは不細工でモテる男というのが世の中になぜかいますが

そういう人なんです、実は。

私の友人でもいる。

女性ってのはこれ嗅覚が鋭くてその男の金稼げる器があるかどうかを見抜くんでしょ。すげえ生き物だと思う。

まあそんなのもありまして、  
やはりバフェットの的な器を身につけるってのは  
色々な面で大事ですよ。

それで、バフェットが言うのは  
「本を読むだけではダメですよ。  
少額でいいから投資してください」

ってことです。

というのはバフェットは投資に必要なのは情報である  
と理解してるのだけど

「体験」ってのは大きな情報であるというのも理解してます。

体験から得られる情報量は非常に多い。

いくら自転車の乗り方を本で学んでも自転車は乗れないけど  
本で学んだ上で体験していくと転んだ上で色々な情報が得られて

そこで自転車に乗れるようになります。

だから「体験情報」ってのもすごい大事なんですね。

だからこの情報についてのバフェットの考え方は大事だな～～  
って私は思いました。

「もう既に私は仮想通貨なり株なりFXなり投資してます」

って人も多いかと思いますが

そういう人は既に体験情報は十分あるわけだから

あとはバフェットが言うような

「手当たり次第に読め」をやるといいんでしょう。

したらお金は長期で増えていきますね！

っていうことで、最後に脚注ですけども

今まあ日本では貧困が進んでいて大変な状態の人が

きっと多いただろうと思います。

そしてそういう人は社会に無視されている、と私は

無視されていた人だからよく分かる。

母子家庭で弟自殺して病気も大変でヒーコラ言って

なんとか生きてきた過去があるからこの辺がよく分かります。

ただバフェットの逸話を見ると分かると思いますが

世の中には知識さえ手に入ればいくらでも這い上がる方法論というのは存在しており、

知識を崇拝しておればまあ人生なんとかなるってことです。

私なんかも色々過去大変だったけどまあ今は

マレーシアのスタバでカタカタ

日曜日にラテ飲みながらバフェットストーリーを書いている

わけでした、

まあちゃんと上記の原理原則の意味とか

本を活用する方法を知ってれば、

なんとかなるんだと思います。

これから大変なことが何かあってもそのたびに

死んでなければ私はなんとかすると思いますし

その強烈な自信が自分にはあります。

それで、まあこのメルマガは正直言ってそういうスタンスを

読者にも伝えたいなっただけがあっただけ書いてるんですね。

ってことで大変な人も日本は多いと思うけど

世の中には良質な情報が書籍とかにも多いわけだし

それらを活用していけばなんとかなるものです。

だから暗闇の中にいる人もいるかも知れど

実は光は知識のあるところにある。

そしてなんとといっても

「投資の神様のバフェットのスタンス」には

重要なのはそこに「知識への敬意」があるということです。

この「知識への敬意」があるとこれは人生が前に進みやすく

なるわけですね。

そういう意味で私たち日本人こそがまさに今バフェットに学ぶ時

であると私は考えておまして、

そこで知識の復興というのが大事になってくるでしょう。

こうやって今まで2018年時点では大変な状況の人が

2020年台と這い上がってきて、

そしてリーダーシップを発揮していき、

新しい時代が形成されていくでしょう。



だからまあ今大変でもいいんだ、ということでした

むしろその大変な時というのは失敗なりがあったときかも

しれないけど

バフェットは考え方としては

「成功よりも失敗のほうが重要な情報が沢山入っているので

失敗沢山したほうがいい」

というものです。

だから大変でもそれは情報の塊、データの塊に過ぎないから

それはそれで次に活用していけばいい、ということですね。

そして同じ失敗を二度繰り返さない。これが大事です。

このようなことを繰り返して人間は成長していくのでしょ。

ということでバフェットの言葉からは人生の本質みたいなのが

とにかく学べるのでバフェットに学ぶのは大事ですね。

そんでメルマガでもバフェットのことも結構扱うけど

扱えない分も沢山あるから

ぜひバフェット本も沢山出てるから

どれも本質的には同じことを言ってるけど

それぞれの言い回しで分かりやすく書かれてるから

読んでみるといいと思います。

それでは！

ゆう